

「集う！学ぶ！繋がる！志を持った人材の育成」

邑南町公民館連絡協議会

1 邑南町の概要

邑南町は中国山地の中山間地域で広島県との県境に位置し、人口約1万1千人、高齢化率43%と高齢者の多い町である。

本町では「日本一の子育て村推進事業」や「東京パラリンピック合宿招致事業」など、様々な事業に取り組んでいる。

町内には12地区それぞれに公民館が設置されており、館長・主事（行政職員）・事務員の3人体制で管理、運営を行っている。邑南町の公民館では、各公民館で行う事業とは別に、12公民館で組織された邑南町公民館連絡協議会が協働・連携して行う事業「歩こう広島から」や「ふるさと講座」「サマーボランティアリーダー研修」などの事業を行っている。

2 事業の趣旨

昨年度の邑南町公民館研究集会で、若者団体の取組について、各団体代表者が事例発表を行った。出羽桜成会・日貫晴れる会・日和青年部の3つの若者団体が発表を行い、地域にある課題や、他の団体も「人が少なくなった・高齢化や過疎化」などの悩みを抱えているということが分かり、自分たちで地域を盛り上げなくてはならないと感じた良い機会だったと発表者から感想をいただいた。また、集会参加者に記入してもらったアンケートから「失われている若者の参画が、各地域で熱い思いを持って進んでいることがすばらしい」、「公民館が命令・指導ではなく、集まる機会の提供などを仕掛けることが大事」などの声があり、「自分たちはカッコいいことをしている！自分たちだけでなく、探せば熱い思いを持った若者団体がい

る！」と感じ、若者の地域参画、公民館参画を促し、公民館を軸に若者が集まって、その地域の若者が活動の中心になって取り組んでいく必要があると感じた。それにより、地域の若者の責任感、使命感、やっとする感を育成し、町内各地域で志を持った人材を育ていくことを本事業の目的とする。



3 具体的な取組内容

① 地域で活動している団体については公民館が1番把握していると考えたため、最初に町内にある全12公民館を巡り、公民館主事に事業の趣旨・目的について説明し、各公民館区で活動・活躍している若者団体について調査を依頼した。調査は作成したヒアリングシートを用いて行い、若者団体の人数、活動内容・取組、悩んでいること、名物などを調査した。

② 一般財団法人 地域・教育魅力化プラットフォーム代表理事の水谷智之氏をお招きして、講演会を開催した。「持続可能な地域社会を創るには人材育成が大事であり、そのためには『will（主体性、当事者意識）』を育てることが大切。『will』を育てるには、個人の小さな興味に対するアクションの積み重ねが必要である。」と説明を受けた。



③ 若者持続可能プロジェクト会議と題して、出羽・日貫・日和の3地区の若者団体で今までの実績と情報共有、①で各公民館主事に協力して集めてもらった若者団体ヒアリングシートの結果を確認し、リーフレットをどのような内容にしていくなかについて協議を行なった。

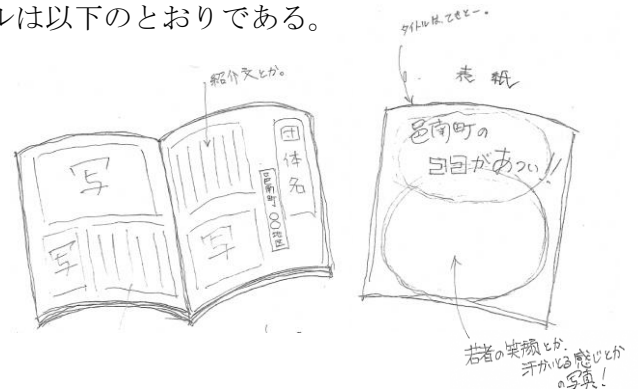
4 評価と成果

講演会は地域の若者が多数参加している印象を受けた。参加者のアンケートにも、「若い人が多くて感銘を受けた」との声があった。最後の質疑応答の時間でも若い方が質問をしている姿が目立った。また、講演会終了後は水谷氏との懇親会に町内の若者団体代表者の一部が参加し、意見交換をするとともに「will会」を結成した。他地域の若者団体の代表者との交流の輪が広まった。

また、各公民館区で行ったヒアリングシート調査を全て集めた結果、町内で21団体の若者が各地域で活動していることが分かった。公民館主事も知らなかった団体も多数あった。結果を見てみると、悩みの部分でやはり人手不足や高齢化、なかなか全員が集まる機会が少ないなどといった内容が多かった。他に気づいた点としては、活動内容や悩みなどを事細かに記入してくださった団体もいれば、一言だけ書かれている団体もあり、各団体の中でも温度差があるように感じた。

5 今後の課題と見通し

今後はリーフレットの作成を中心に行っていきたい。現在考えているリーフレットのモデルは以下のとおりである。



各団体の歴史・想い・紹介のほか、各団体の拠点を示した邑南町のマップなど掲載していく。

また、このリーフレットを邑南町PR用ツールや社会教育の教材として活用していきたいと考えている。具体的には、転入してこられた方などにこのリーフレットをお渡しし、地域の紹介やこんな楽しそうな若者団体がいるという紹介ができる。また、町内の子ども達にこのリーフレットを見てもらい、地域で頑張っている大人の姿を知ってもらうことで、「近所の大人達楽しそう！こんな大人になりたい！この地域が好き！」という想いを子ども達に持たせ、郷土愛を育むことができる。

そのために、ヒアリングシートの記入に協力してくださった若者団体の代表者ともそれぞれ話し合いをし、内容をさらに詰めていく予定である。他の地域では見たことの無いようなインパクトを持ったリーフレットを作成していく。これによって町内の若者同士が繋がるきっかけになり、若者全体の結束力を深め、「自分たちの地域を自分たちで創る」という志を持った若者の育成促進に繋がる。若者だけでなく、その若者たちの子ども達のような次世代にもこの郷土愛・使命感・当事者意識が受け継がれていくことを期待する。

(文責：邑南町教育委員会 山本萌美)